

BeLive

4

海ごみ削減をめざして

岡山県立玉野光南高等学校
S活メンバーズ海ごみチーム



海ごみ削減をめざして



岡山県立玉野光南高等学校
S活メンバーズ海ごみチーム

14 海の豊かさを
守ろう



海へのゴミの流出量

毎年少なくとも年間800万トン分のプラスチックごみが海に流出していると報告されている（2016年）

考えられる海洋ごみの影響

- 海に住む生き物が誤ってプラスチックごみを食べて死んでしまう。
- マイクロプラスチックを食べた魚を食べることの悪影響も懸念されている。

瀬戸内海の海ごみを減らしたい！

家庭ごみなど
陸から流入 約70%

漁具など
海で発生 約25%

瀬戸内海への
ゴミの流入
4,500トン／年

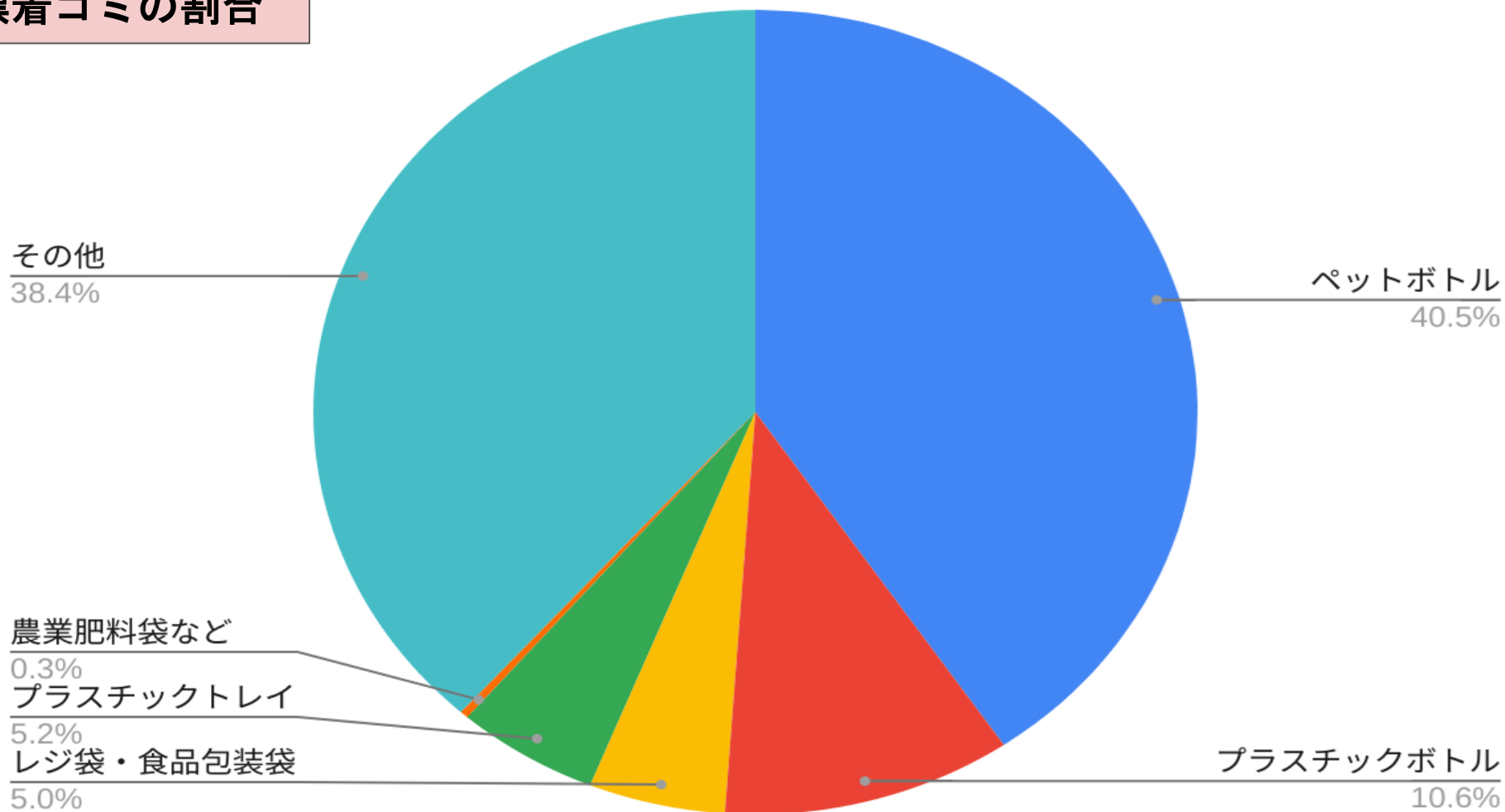
回収は約30%



14 海の豊かさを
守ろう



漂着ゴミの割合



渋川清掃 (7月7日)

予想と違うぞ



「おokayama海ごみゼロ大作戦」 中高校生実行委員会に参加

中学生・高校生

日本財団
「瀬戸内オーシャンズX」

NPO法人
グリーンパートナー
おokayama

「おかやま海ごみゼロ大作戦」 中高校生実行委員会

- 7月14日 第2回実行委員会
- 8月10日 第3回実行委員会
- 8月23日 備前県民局、県庁訪問
- 9月15日 第4回実行委員会
- 10月20日 第5回実行委員会
- 11月 2日 第6回実行委員会



加入して最初の会議 7 月 (第 2 回実行委員会)

- ・香川県や愛媛県の高校生の取り組みの発表
- ・岡山県内の中高生や大人の人たちと、自分た
が行う活動についての意見交換、交流



第 3 回実行委員会 8 月

- ・清掃イベントへの参加をどのように
呼びかけるか

Beliveイベント

グループ
ディスカッション

Belive

実践したアドバイス

- ・小中学生にも広める
- ・まずは自分たちが行動する

岡山県立玉野光南高等学校
青島 小川 晃子

備前県民局、県庁訪問（8月23日）

清掃イベントの企画に向けて

児島湖流域についてのお話や清掃活動企画の注意点をうかがいました

備前県民局 農地農村計画課

建設部管理課

岡山県庁 環境文化部循環型社会推進課



第4回実行委員会 9月

ターゲット層

小・中・高校生

当日の内容について

- ・ 受付
- ・ 清掃
- ・ 活動の振り返り
- ・ 飲み物などの配布



第5回実行委員会 10月

必要だと思う役割

- ・ 司会
- ・ 受付
- ・ コース案内
- ・ 記録係
- ・ 分別確認係

第6回実行委員会 11月

- ・ 役割分担
- ・ 必要なものの用意
- ・ 最終の募集の呼びかけ方法



11月17日（日） 8:00～11:00 旭川清掃

旭川河口部の草むら（ヨシ原）に、市街地から流れてきたゴミが草にからまったままたくさん残っている。

このゴミが瀬戸内海に流れ出る前に中高生が中心に回収する。




参加人数： 中高生 約120人、
企業団体の職員や地域住民 約80人











プラスチック

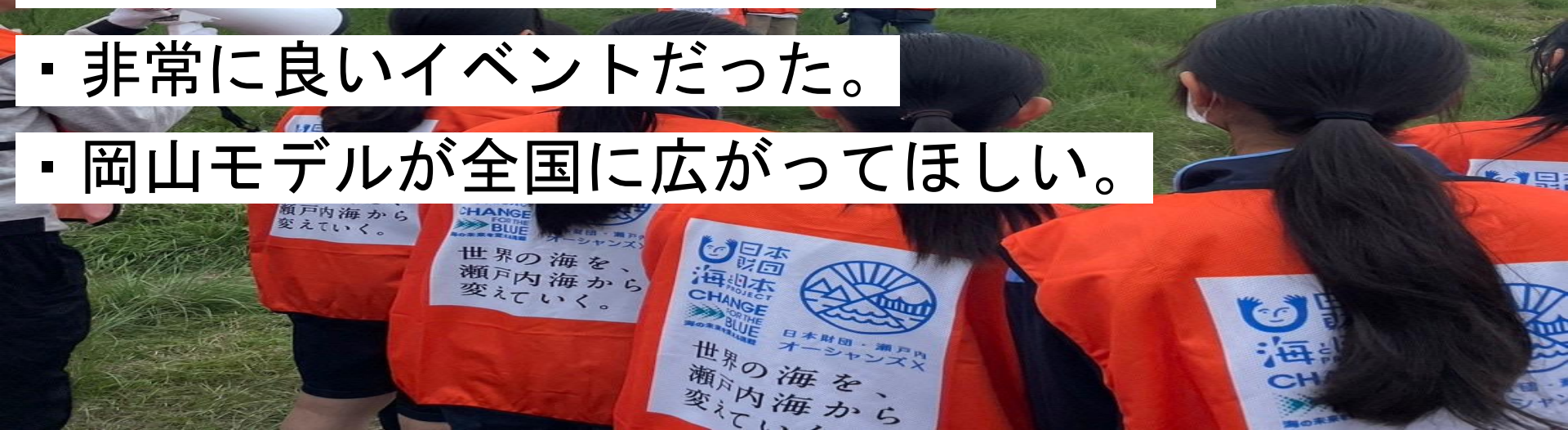
116袋

缶ゴミ

11袋

参加した方々の感想より

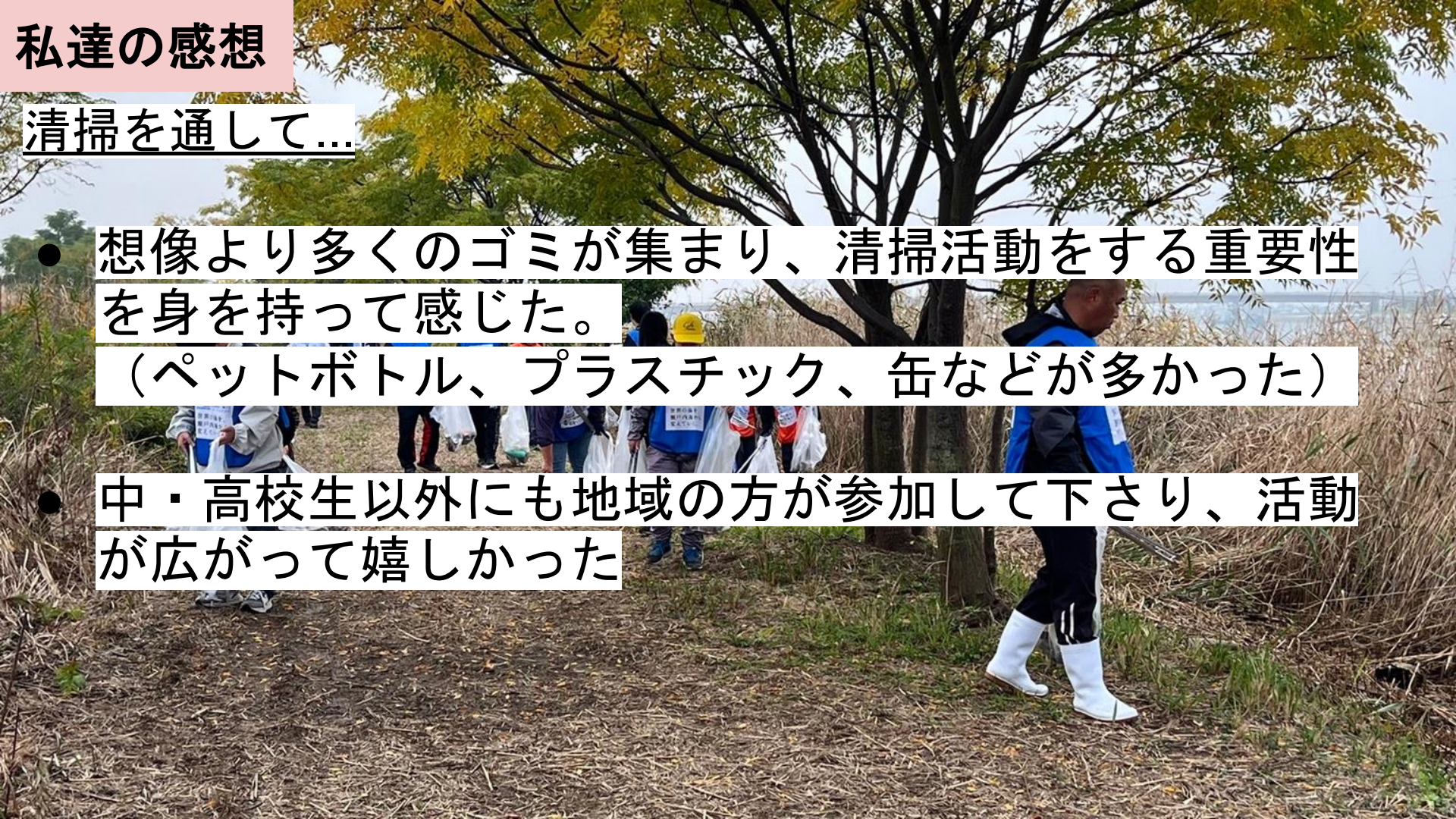
- ・若い方々が真剣に取り組んでいて頼もしく感じました。
- ・今後の活動に期待ができました。
- ・より多くの人たちを巻き込んでほしい。
- ・非常に良いイベントだった。
- ・岡山モデルが全国に広がってほしい。



私達の感想

清掃を通して...

- 想像より多くのゴミが集まり、清掃活動をする重要性を身を持って感じた。
(ペットボトル、プラスチック、缶などが多かった)
- 中・高校生以外にも地域の方が参加して下さり、活動が広がって嬉しかった



今後取り組もうと思うこと

興味を持って
もらうために
SNSで広報

後輩に
ノウハウを
伝え活動を
引き継ぐ

今後も
清掃活動に
取り組む

